

2024（令和6）年度 京都大学 入試問題 理系 第2問 解答例

*1行は約25文字（+句読点などの記号）。20字程度とすべきだと主張する人もいる。

問一

自然物を用いる美術作品は、時代の経過で変化し、破損すれば永遠に失われるので、存続の亡失は必然と思われるから。

問二

美術作品は、時代経過の特質として自然的変化が現れ、必然的にその保存自体に価値が帰せられ、一方、その変化が望んでも得がたいものとしての価値をも生じるということ。

問三

人間の創作としての芸術の本質的価値は、自然現象に依存しない作品の永遠的な効果にあり、それが常に再現可能となるには、普遍的永遠的価値を持つ科学的方法を応用できるまでに科学が十分発達しなければならないということ。